

1 目標設定の多様化（P2～）

- 複数の目標を設定するべきではないか
（現在）旅行者数のみ → （例）消費額、リピーター数を追加
※中間のまとめで整理

2 新たな取組の視点（P14～）

- 観光振興の取組に向けた4つの視点は適切か

① 観光の一大産業化

② 将来を見据えた新たな観光資源の開発

③ 魅力の発信と効果的な誘致活動

④ 受入環境の充実

3 取組の方向性（P17～）

(1) 消費拡大に向けた観光経営（P17～）

- 旅館等を含め生産性をどう高め人材を育てるか

(2) 集客力が高く良質な観光資源の開発（P20～）

- 新しい考え方で観光資源づくりや多摩・島しょ観光をどう進めるか

(3) 東京ブランドの発信と観光プロモーションの新たな展開（P25～）

- これから東京ブランドの発信や旅行者への働きかけをどう進めるか

(4) MICE誘致の新たな展開（P29～）

- MICE施設の更新や多摩での展開をどう進めるか

(5) 外国人旅行者の受入環境の向上（P32～）

- 区部や多摩で観光客にとって快適な環境をどう生み出すか

(6) 日本各地と連携した観光振興（P36～）

- 各地との連携をどう強化するか

方向性

- 観光事業者の生産性を高めるマーケティングやICT化の導入
- 人材をマネジメント層とサービス提供を行う層の両面から育成
- 旅館ブランドの発信や旅館と地域との連携

(P19)

- 水辺空間や舟運の活性化などの賑わい創出
- ライトアップによる観光まちづくり
- ブロードウェイのようなナイトライフの仕組みや、エンターテインメントを楽しむ場の確保
- 東京を象徴する大規模な新たな祭りの創出
- 多摩・島しょの自然や農林水産業の一層の活用

(P23)

(P24)

- 観光レップによる欧米豪の富裕な旅行者層の訪都に向けた働きかけや条件整備
- パリやNYのような都市との相互観光PR
- 東京ブランドの推進に向けた地域や民間の力の活用

(P27)

- MICE施設の更新や質の向上に向けたサポート
- 多摩地域でのMICE開催を増やすための地域としての取組

(P31)

- 多摩地域での観光情報センター機能の整備
- ボランティアのリーダーづくりや障害者の参加
- 緊急時や災害時における外国人旅行者の安全・安心の確保
- ホール・劇場の確保に向けた取組

(P34)

(P35)

- 都内と日本各地の姉妹都市である区市町村同士の交流

(P37)